

あんぜんだいはうかい たいせいたお
安全大崩壊の J R 体制倒せ

かい こ てつかい ふっ き しんしよめい
解雇撤回・ J R 復帰の新署名を

がくせい じ ち かい けんせつ はんせん
学生自治会を建設し反戦ストへ

きやうだいだんあつ せんべい か きやうさんとう
京大弾圧の先兵と化した共産党

べいかんぐん じ だいえんしゆう ちょうせんしんりやくせんそうはつどう ちょうせつぼくじようせい たいけつ ろうどうしゃじんみん
米韓軍事大演習 = 朝鮮侵略戦争発動の超切迫情勢と対決し、労働者人民
かんどうてき しやうり つぎつぎ だいいち きやうだいはんせん だんあつふんさい
の感動的な勝利が次々とかちとられている。第一に、京大反戦スト弾圧粉碎、
ぜんがくれん がくせい ぜんいんだっかん だいしやうり だいに どうろう ち ば せんとう ろうどうしゃ いか
全学連 6 学生の全員奪還の大勝利だ。第二に、動労千葉を先頭に J R 労働者の怒
りが C T S (千葉鉄道サービス) の就業規則改悪 4・1 実施を粉碎したことだ。
だいさん どうろう み と ひばくろうどうきよひ たたか けつごう ふくしま まいづる えひめ ろうどうくみあい
第三に、動労水戸の被曝労働拒否の闘いと結合した福島、舞鶴、愛媛での労働組合
を軸とした反原発闘争の前進だ。3 月闘争にさらに決起し、4～5 月へ解雇撤回
・ J R 復帰の新国鉄署名を推進しよう。全国大学で新歓闘争の成功、自治会建設
はんせん ばくはつ
・ 反戦ストの爆発をかちとろう。

はんせん むざい ちへい だいしやうり
「反戦ストは無罪！」の地平かちとった大勝利

さくねん きやうだいはんせん あん ぼ せんそうほう きやうこうさいけつ いか ばくはつ
昨年 10・27 の京大反戦ストは、安保戦争法の強行採決に怒りを爆発させ、
しよくば だいがく せんそう そ し さいだい ちから しめ かつき
職場や大学でのストライキこそが戦争阻止の最大の力であることを示した画期
てき たたか きやうだい せいぎせい はきゆうりよく きやうふ あべせいけん こう
的な闘いだった。この京大ストの正義性と波及力に恐怖した安倍政権と公
あんけいさつ いりよくぎやう む ぼうがい きやうべん きやうだいとうきよく こくそ
安警察は、ストは「威力業務妨害」だなどと強弁し、京大当局に告訴させ、
がくせいうんどう にん ふとうたいほ だいだんあつ ろうどうしゃじんみん いか
学生運動のリーダー 6 人を不当逮捕した。だがこの大弾圧は労働者人民の怒りに
ひ
火をつけた。

しゃくほうようきゆうしよめい びつ こ あつ おお きゆうえんぶつ し ぜんこく
釈放要求署名は 2500 筆を超えて集まり、多くのカンパと救援物資が全国

から京大^{きょうだい}全学自治会^{ぜんがくじ}同学会^{がくかい}に寄せられた。京都^{きょうと}の街^{まち}は反戦^{はんせん}ストを闘^{たたか}った京大^{きょうだい}生^{せい}への支持^{しじ}で沸き立ち^{わきた}、権力^{けんりょく}・安倍政権^{あべせいけん}と京大^{きょうだい}・山極総長^{やまぎわそうちょう}に対する怒^{いか}りで満ちあふれた。この労働者^{ろうどうしゃ}人民^{じんみん}の大反撃^{だいはんげき}が安倍^{あべ}と権力^{けんりょく}を迫^おいつめ、6 学生^{がくせい}を実力^{じつりょく}で奪還^{だっかん}する大きな力^{ちから}となり、「反戦^{はんせん}ストは無罪^{むざい}！」をもぎりとったのだ。敵^{てき}は墓穴^{ぼけつ}を掘^ほり大敗北^{だはいぼく}した。今^{いま}こそ戦争^{せんそう}・改憲^{かいかん}阻止^{そし}と安倍政権^{あべせいけん}打倒^{だとう}へ、全国^{ぜんこく}300 万^{まん}学生^{がくせい}の総決起^{そうけつき}を実現^{じつげん}する時^{とき}だ。

日本^{にほん}共産党^{きょうさんとう}スターリン主義^{しゅぎ}は、権力^{けんりょく}や大学当局^{だいがくとうきょく}に寄り添^よい弾圧^{だんあつ}の先兵^{せんべい}となり、反人民^{はんじんみん}的な正体^{しょうたい}をさらけ出した。なんと共産党^{きょうさんとう}京都府委員^{きょうさんとうきょうとふいんちょう}長の渡辺和俊^{わたなべかずとし}は、京大^{きょうだい}同学会^{がくかい}の反戦^{はんせん}バリスト^{たい}に対し「大学施設^{だいがくしせつ}を占拠^{せんきよ}した刑法犯^{けいほうはん}」「不法占拠^{ふほうせんきよ}」「毅然^{きぜん}と法の裁き^{ほうさば}を求めた大学^{もとだいがく}の対応^{たいおう}は当然^{とうぜん}」などとうそぶいた。米韓^{べいかん}合同軍事^{ごうどうぐんじ}演習^{えんしゅう}が連日^{れんじつ}激しく行^{おこな}われ、安保戦争^{あんぼせんそう}法^{ほう}が3月^{がつ}29日^{にち}に施行^{しこう}される中で、共産党^{きょうさんとう}は「反戦^{はんせん}ストは犯罪^{はんざい}」という安倍^{あべ}や公安警察^{こうあんけいさつ}と同じ立場^{おなたちばた}に立^たったのだ。

共産党^{きょうさんとう}は安保法^{あんぼほう}施行^{しこう}下^かで朝鮮戦争^{ちょうせんせんそう}の切迫^{せつぱく}と闘^{たたか}わず、労働者^{ろうどうしゃ}や学生^{がくせい}がストで戦争^{せんそう}阻止^{そし}の闘^{たたか}いに立ち上^たがることを権力^{けんりょく}と一体^{いつたい}となつて圧殺^{あつさつ}すると表明^{ひょうめい}したに等^{ひと}しい。1947 年の2・1ゼネスト^{ねんせんごかくめい}と戦後革命^{あつさつ}を圧殺^{いらい}して以来^{いらい}、ストライキ^{ストライキ}に敵対^{てきたい}するのが共産党^{きょうさんとう}の一貫^{いつかん}した立場^{たちば}だ。共産党^{きょうさんとう}は労働者^{ろうどうしゃ}人民^{じんみん}の闘^{たたか}いを資本^{しほん}主義^{しゅぎ}体制^{たいせい}の枠内^{わくない}に押し込^{おこ}め圧殺^{あつさつ}する反革命^{はんかくめい}だ。この共産党^{きょうさんとう}を粉碎^{ふんさい}・打倒^{だとう}してこそ、労働者^{ろうどうしゃ}人民^{じんみん}の自己解放^{じこかいほう}的決起^{てきけつき}は実現^{じつげん}できるのだ。

ストライキ^{ストライキ}こそ、労働者^{ろうどうしゃ}や学生^{がくせい}が職場^{しょくば}や大学^{だいがく}の真^{しん}の主人公^{しゅじんこう}であるという自覚^{じかく}を生^うみ出し、革命^{かくめい}の主体^{しゅたい}として登^{とう}場^{じょう}していく自己解放^{じこかいほう}的決起^{てきけつき}だ。京大^{きょうだい}弾圧^{だんあつ}粉碎^{ふんさい}の歴史的^{れきし}地平^{ていへい}から全国^{ぜんこく}大学^{だいがく}で反戦^{はんせん}ストの爆発^{ばくはつ}をつくり出^だそう。

この全学連^{ぜんがくれん}の感動^{かんとう}的な闘^{たたか}いと一体^{いつたい}で、動労千葉^{どうろうちば}を先頭^{せんとう}に動労総連合^{どうろうそうれんごう}や合同^{ごうどう}・一般^{いっぱん}全国^{ぜんこく}協^{きょう}、日本^{にほん}機械工業^{きかいこうぎょう}労組^{ろうそ}などの春闘^{しゅんとう}ストが全国^{ぜんこく}で連続^{れんぞく}的に闘^{たたか}われてい

る。これは、「ストは犯罪」という安倍政権の恫喝をぶっ飛ばす労働者の実力決起だ。韓国の民主労総は何度もゼネストに立ち、労働法制改悪を粉碎し、朝鮮戦争阻止・パククネ政権打倒に突き進んでいる。フランスでは労働法制改悪絶対反対で労働者がストに決起し、学生はバリケードストを闘っている。

今や全世界で大恐慌と世界戦争に対決する労働者や学生のストが爆発している。京大弾圧粉碎の大勝利から、戦争絶対反対・労働法制大改悪粉碎の闘いへさらに決起し、5・15沖縄闘争、伊勢志摩サミット＝世界戦争会議粉碎闘争、7月選挙決戦へ進もう。

CTSをめぐる攻防は解雇自由許さぬ最先端

こうした中で、CTSによる就業規則改悪の4月1日実施を粉碎したことは、労働者の未来を切り開く画期的勝利だ。CTSの就業規則改悪は、1年契約の更新を最大4回までとし、「限定社員」になるための「試験」に合格しなければ解雇するというものだ。限定社員になっても月給制から時給制へ賃下げが行われ、諸手当も大幅に削減される。2013年4月施行の改定労働契約法によって、18年4月には5年間有期雇用で働いていた労働者に、無期雇用となる権利が発生する。

だが当初から、18年の前に無期雇用への転換を回避するための大量解雇が発生すると言われてきた。CTSが大量解雇の先兵になろうとしている。現在、有期雇用労働者は1400万人。安倍政権はJR-CTSでの就業規則改悪を突破口に、有期雇用労働者全体の解雇を狙っている。まさにCTSでの就業規則改悪をめぐる攻防は、「解雇自由」の攻撃を許さない最先端の激突だ。

CTSで就業規則改悪の4月1日実施を阻止したことは、安倍の労働法制大改悪を職場の闘いで打ち破る展望を示した。JRのみならず全産別で派遣労働者や有期雇用労働者の解雇をめぐって激突している。動労千葉は就業規則改悪問題を徹底的に暴露し、CTS労働者の怒りを組織した。これに続いて全産別で派遣法廃止・非正規職撤廃へ闘おう。国鉄新署名を全職場で推進しよう。

3月15日早朝、JR東日本の籠原(かごはら)駅で送電設備から火災が発生し、2日間にわたり高崎線が止まる大事故が起きた。事故が数時間遅く通勤・通学の時間帯に発生していたら、多くの乗客が感電死する事態にもなりかねなかった。全責任は利益優先・安全無視のJR東日本にある。保線・電力・信号通信・土木や、車両の検査修繕、駅業務などをすべて下請け会社に外注化し、安全に責任を取らなくなったことが大事故を引き起こしたのだ。

さらに3月17日には広島県の山陽道トンネルで2人が死亡し多数が負傷する大事故が発生した。事故を起こした運転手は、過酷な長時間労働を繰り返し強いられていた。長時間労働は運送業界や介護業界など多くの職場に広がり、労働と安全を破壊し労働者の命を奪っている。労働者が労働組合で団結し、外注化・非正規職化と長時間労働に対して闘わなければ殺されるのだ。

新自由主義とその崩壊が生み出す攻撃と真っ向から対決し、動労総連合の建設が画期的に前進している。2月24日には動労総連合・九州が結成され、さらには動労総連合・北海道、そして動労総連合・東京の結成が宣言されている。

この画期的な地平を発展させ、ストライキで闘う労働組合を全国につくろう！

労働組合の闘い先頭に再稼働停止に追い込む

どうろう み と ひ ばくろう どうきょ ひ たたか げんばつりつ ち まいづる え ひめ ろう どうく みあい じく
 動労水戸の被曝労働拒否の闘いが、原発立地の舞鶴や愛媛での労働組合を軸
 とした闘いへと広がっている。再稼働した関西電力高浜原発3、4号機はつい
 ていし お こ ふくしまげんばつ じ こ ご つく しんきせいきじゅん
 に停止に追い込まれた。これは、3・11福島原発事故後に作られた「新規制基準」
 てきごう さいかどう きょうこう げんばつ ていし はじ ちへい
 に適合したとして再稼働が強行された原発を停止させるという初めての地平だ。

じ ち たいろう どうしゃ ろう どうく みあい ひ ばくろう どうきょ ひ さいかどう ぜったいはんたい た あ
 自治体労働者が労働組合として被曝労働拒否・再稼働絶対反対で立ち上がるな
 らば、ち いきじゅうみん いか けっしゅうじく げんばつさいかどう そし
 地域住民の怒りの結集軸となり、原発再稼働を阻止できるのだ。また、
 ろう どうく みあい じく けっき げんばつろう どうしゃ けつごう げんばつろう どうしゃ なか ろう
 労働組合を軸とした決起は、原発労働者との結合をつくり、原発労働者の中に労
 どうく みあい てんぼう ひら あ べ せいけん ふくしまあつさつ き かん きょうせい
 働組合をつくる展望をも開く。安倍政権による福島圧殺と帰還の強制、そのた
 めの じょうばんせんぜんせんかいつう ぜったい ゆる たたか けっき
 常磐線全線開通を絶対に許さない闘いに決起していこう。

だいきょうこう そこ げきか しんか かんぜん ほうかい
 大恐慌の底なしの激化・深化のもとで「アベノミクス」は完全に崩壊し、
 かんせいしゅんとう えんしゅつ むざん はさん けいざい けつか だ
 「官製春闘」の演出も無残に破産した。「経済で結果を出す」とうそぶいてい
 あ べ らいねん がつ しょうひ ぞうぜい えんき けんとう はじ こそだ せだい
 た安倍は、来年4月からの10%消費増税の延期も検討し始めた。子育て世代の
 ろう どうしゃ ねんきんせいかつしゃ い さけ しゃかいぜんたい おお
 労働者から年金生活者まで、「生きていけない！」という叫びが社会全体を覆い、
 あ べ せいけん つうげき
 安倍政権を痛撃している。

いか しゃかい こんぼんてきへんかく うご だ しょうり みち たたか ろう どうく みあい がくせいじち
 怒りは社会の根本的変革へ動き出した。勝利の道は闘う労働組合と学生自治
 かい ろう どうく みあい がくせいじちかい せんとう せんそう
 会である。労働組合と学生自治会を先頭としたストライキ・ゼネストこそが戦争
 と しゃかい か ちから どうろうそうれんごう じく ぜんこく たたか ろう どうく みあい
 を止め、社会を変える力だ。動労総連合を軸に全国に闘う労働組合をつくろう。
 せんそう かいけん ろう どうほうせいだいかいあく あ べ だとう がつけっせん たたか
 戦争・改憲と労働法制大改悪の安倍打倒へ、3月決戦をさらに闘いぬき、4
 がつ だいけっせん ゆうやくしんげき
 ～5月からの大決戦へ勇躍進撃しよう。